

本書において、誤記がございましたのでお詫びの上、訂正させていただきます。

頁・番号等	誤	正												
36 頁 解説 8 荷造り 縦方向の層数 n の算出式 (分子「W」⇒「h」)	ドラムは原則金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。 $L=N \cdot n \cdot \pi \{d+\beta \cdot n \cdot \delta +m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ ただし $N=\frac{W}{\delta+m}$ $n=\frac{W}{\beta (\delta+m)}$ $h=\frac{D-d-2g}{2}$ ここに、L：最大巻き付け長さ（5m 単位で切捨）（m） N：横に並ぶ数（小数点以下切捨） n：縦方向の層数（小数点以下切捨） h：巻かれたケーブルのみかけの高さ（mm） δ：標準ケーブルの外径（mm） m：ケーブル外径に対する余裕（mm） <table><tr><td>$25<\delta \leq 50$ の場合</td><td>m=1.0（mm）</td></tr><tr><td>$50<\delta \leq 75$ の場合</td><td>m=1.5（mm）</td></tr><tr><td>$\delta > 75$ の場合</td><td>m=2.0（mm）</td></tr></table> D：ドラムつば径（mm） d：ドラム胴径（mm） W：ドラム内幅（mm） g：ドラム巻隙（mm）（トリプレックス g=100mm，単心 g=55mm とした。） β：縦方向の係数（β=0.95 とした。）	$25<\delta \leq 50$ の場合	m=1.0（mm）	$50<\delta \leq 75$ の場合	m=1.5（mm）	$\delta > 75$ の場合	m=2.0（mm）	ドラムは原則金属製ドラムを使用することとし、ケーブルの標準最大巻き付け長さは次式より算定した。 $L=N \cdot n \cdot \pi \{d+\beta \cdot n \cdot \delta +m\} \times 10^{-3} \text{ (m)}$ ただし $N=\frac{W}{\delta+m}$ $n=\frac{h}{\beta (\delta+m)}$ $h=\frac{D-d-2g}{2}$ ここに、L：最大巻き付け長さ（5m 単位で切捨）（m） N：横に並ぶ数（小数点以下切捨） n：縦方向の層数（小数点以下切捨） h：巻かれたケーブルのみかけの高さ（mm） δ：標準ケーブルの外径（mm） m：ケーブル外径に対する余裕（mm） <table><tr><td>$25<\delta \leq 50$ の場合</td><td>m=1.0（mm）</td></tr><tr><td>$50<\delta \leq 75$ の場合</td><td>m=1.5（mm）</td></tr><tr><td>$\delta > 75$ の場合</td><td>m=2.0（mm）</td></tr></table> D：ドラムつば径（mm） d：ドラム胴径（mm） W：ドラム内幅（mm） g：ドラム巻隙（mm）（トリプレックス g=100mm，単心 g=55mm とした。） β：縦方向の係数（β=0.95 とした。）	$25<\delta \leq 50$ の場合	m=1.0（mm）	$50<\delta \leq 75$ の場合	m=1.5（mm）	$\delta > 75$ の場合	m=2.0（mm）
$25<\delta \leq 50$ の場合	m=1.0（mm）													
$50<\delta \leq 75$ の場合	m=1.5（mm）													
$\delta > 75$ の場合	m=2.0（mm）													
$25<\delta \leq 50$ の場合	m=1.0（mm）													
$50<\delta \leq 75$ の場合	m=1.5（mm）													
$\delta > 75$ の場合	m=2.0（mm）													